学校番号	2002

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music　（教育芸術社）						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を音楽Ⅰ、Ⅱの学習経験を基盤として、学習していきます。
・音楽を形づくっている要素の働きが楽曲の特徴にどのような役割を果たしているかを理解していきます。
・音楽文化についての理解を深めるために、音楽が文学や絵画などの諸芸術や他の文化と互いにどのように影響しあって発展してきたかを様々な教材を通じて考えます。
・実技試験は授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他人の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げて、今後の音楽表現に生かしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽Ⅱの学習成果を踏まえ、文化的・歴史的背景や音楽の多様性について理解を深め、より広い視野で音楽を捉えることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
個性豊かな音楽表現を創意工夫できるようにするために、必要となる技能を身に付け高めることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的な音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度や音楽の知的財産権を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歌唱・器楽などの音楽表現において、学んだことを取り入れ、自己のイメージを持ち、創意工夫できるために必要な知識・技能を身に付けている。 また、鑑賞を通して音楽と社会との関わりや歴史的背景などを学び理解し、文章表現できている。	曲想を歌詞の内容や背景と関わらせてイメージし、曲種に応じた発声の特徴を生かすなど、学習した知識・技能を生かし、表現したい自己のイメージを膨らませながら、楽曲にふさわしい音楽表現を創意工夫しようとしている。また、鑑賞から得た知識・技能を生かし、思考・判断して創造的な表現をしようとしている。	主体的・協働的に幅広い活動に取り組み、その中で他者との調和を意識し、創意工夫過程で様々な表現を試している。また、楽曲の曲想や背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、演奏したり鑑賞したりする学習に意欲的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現	**オリエンテーション～クラスの歌声を響かせよう** **「Prpgress」** **「アイノカタチ feat.HIDE」** **「春よ、来い」**	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個豊かに表現している。 b:親しみやすいポップスや効果の旋律・リズムを知覚し特質や雰囲気を感受しながら自己のイメージを持って、表現している。 c:歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら二部合唱で歌うことに関心を持ち、主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	ワークシート 確認テスト	レポート 実技テスト	観察 振返りシート
		日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽を体験しよう **「日本音楽の特徴」「世界の諸民族の音楽」**	a:【知】芸術としての音楽と文化的・歴史的背景、他の芸術や文化とのかかわりについて理解するとともに意味や価値について理解する【技】創意工夫や表現上の効果を生かした演奏表現をするために必要な技能を身に付けながら、個性豊かに演奏表現を創意工夫する。 b:音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、個性豊かに表現を創意工夫できている。 c:言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 確認テスト	レポート 実技テスト	観察 振返りシート
		英語でポップスを歌おう **「I need to be in love」**	a: 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、それらによって生みだされる表現上の効果について	ワークシート 確認テスト	レポート 実技テスト	振返りシート

			理解している。 b: 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、個性豊かに表現を創意工夫できている。 c: 言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。			
	鑑賞	≪レ・ミゼラブル≫	a:【知】芸術としての音楽と文化的・歴史的背景、他の芸術や文化とのかかわりについて理解するとともに意味や価値について理解する【技】創意工夫や表現上の効果を生かした演奏表現をするために必要な技能を身に付けながら、個性豊かに演奏表現を創意工夫することへつなげる。 b:音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、個性豊かな表現に結びつけている。 c:言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心を持ち、鑑賞している。	ワークシート 確認テスト	レポート	観察
2学期	表現	アンサンブルを楽しもう 「上を向いて歩こう」 ミュージカルの楽曲に挑戦しよう 「夢やぶれて」	a:【知】表現の固有性や多様性について理解している。音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。【技】他者との調和を意識して歌う、表現形態の特徴を生かす技能を身に付けている。 b:和音・和声を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、自己のイメージを持ち、意図して表現している。 c:和音・和声を学習することに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 確認テスト	実技テスト レポート	観察 振返りシート

	表現・鑑賞	コンサートを開こう① ～3 年間のまとめとして （3学期へ継続）	a：３年間の学習を通して、表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。また、技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽、創作で表している。 b：音楽Ⅰ Ⅱ Ⅲで学んだ教材の音楽の諸事項を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、自己のイメージを持って歌唱や器楽、創作表現としてどのように表すかについて、思いや意図を持っている。 c：３年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、学習を経て、自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・共働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 確認テスト	レポート	観察
３学期	表現・鑑賞	コンサートを開こう② ～3 年間のまとめとして	a：３年間の学習を通して、表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。また、技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽、創作で表している。 b：音楽Ⅰ Ⅱ Ⅲで学んだ教材の音楽の諸事項を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、自己のイメージを持って歌唱や器楽、創作表現としてどのように表すかについて、思いや意図を持っている。 c：３年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、学習を経て、自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・共働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート （企画書）	実技テスト レポート	振返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度